平成 18 年 2 月 14 日

各　　位

会 社 名　株式会社東邦システムサイエンス
代表者名　代表取締役社長　　渡邉　一彦
（JASDAQ・コード番号　4333）
問合せ先　取締役管理本部長　高橋　誠
（TEL．03－3868－6060）

平成 18 年３月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 10 月 17 日に公表した平成 18 年３月期（平成 17 年４月１日～平成 18 年３月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．平成 18 年３月期連結業績予想数値の修正（平成 17 年４月１日　～　平成 18 年３月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	５，３００	４７０	２６０
今　回　修　正　予　想（B）	５，８００	５５０	３０８
増　　減　　額（B－A）	５００	８０	４８
増　　減　　率（％）	９．４	１７．０	１８．５
（ご参考） 前期実績（平成 17 年３月期）	３，７３０	２５５	１１２

２．平成 18 年３月期業績予想数値の修正（平成 17 年４月１日　～　平成 18 年３月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売　上　高	経常利益	当期純利益
前　回　発　表　予　想（A）	５，２７０	４５０	２５２
今　回　修　正　予　想（B）	５，７７０	５３０	３００
増　　減　　額（B－A）	５００	８０	４８
増　　減　　率（％）	９．５	１７．８	１９．０
（ご参考） 前期実績（平成 17 年３月期）	３，６７７	２２８	９６

３．修正の理由

(1) 単独業績予想

当期は、平成 17 年４月１日付の株式会社中野ソフトウェア・エースとの合併による、シナジー効果の最大化を目指し経営資源を集中するとともに、双方の技術及び人材の融合に努めた結果、主力である金融系業務に加え、通信業向け業務及び鉄道業向け業務が大きく寄与し、売上高及び利益面とも計画を上回る状況で推移してまいりました。

また、期初より本格導入したＰＭＯ（プロジェクト・マネジメント・オフィス）活動主導によるプロジェクト点検の強化と、品質マネジメントシステムに基づいた品質向上へ向けての取り組みの徹底などにより、原価率は概ね計画水準で推移していることと、期末に向けても同様の状況が続くものと予想しております。

以上を踏まえ、前回発表いたしました業績予想を上回る見通しとなりましたので、修正することといたしました。

(2) 連結業績予想

連結業績予想の修正は、主に単独業績予想の修正によるものであります。

以　上

（注）この資料に記載しております売上高および利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想とは異なる結果となることがあります。